

# 次世代型ドライ空間

●技術アドバイザー：ATTACCATO合同会社

## 従来のドライ空間が抱える問題

### 現場目線

- ・作業中におけるワーキングエリアの露点温度悪化
- ・風が強く、精密作業がし辛い
- ・粉体を取扱う事が多く、室内清掃に時間を取られる
- ・装置が大きく、日常メンテナンスが大変

### 管理者目線

- ・設備導入費が高額で、導入し辛い
- ・露点維持の為に連続運転する為、電気代が高い
- ・付帯装置が大きく、設置場所が限られる
- ・設備導入までの手続き・届け出・工事期間が長い

## 次世代型ドライ空間「ドライブース」が解決します

### ドライブース仕様 (標準タイプ)

在室人数：1名  
室内露点：-40℃  
ブース寸法：3×3×2.5m  
周辺材質：帯電防止ビニール  
カーテン



### ドライブース付随 装置除湿ユニット

寸法：1×2×2m  
重量：本体850kg (425kg/m<sup>3</sup>)

## ドライブースを導入するメリット

### 全面ダウンフローによる超低湿度空間

天井全面がドライエアーの吹出口となっており、作業員から発生する水分などを足元へ落とします。フレッシュなドライエアーが作業中のワーキングエリアへ常に供給されます。

### 周囲素材のバリエーション

従来品の断熱材を挟んだハードパネルから、ソフト素材（ビニールなど）多種素材とマッチングできます。好みの素材を組込むことで、用途の可能性を上げます。

### 新コンセプトによるドライ空間設計

空間内のエアー循環速度を微風速化に成功！粉体の飛散抑制や、精密作業時の風による影響を低減し、ストレスの少ないドライ空間を提供します。

### 設置工事期間が短く、簡単

シンプル設計により導入期間を大幅に削減できます。また従来のドライルームでは移設が困難でしたが、NSドライブースでは容易に移動できます。

空間除電式次世代型ドライ空間も御座います

**Nihon Spindle**



# 空間除電式 次世代型ドライ空間

特別仕様

●技術アドバイザー：ATTACCATO合同会社

## ドライ空間が抱える静電気問題

### 低露点雰囲気ほど静電気の発生・帯電量が増大する

- 粉体取扱いの際、粉末が飛散しやすくなる
- セパレータ・樹脂フィルムなどのハンドリングに苦勞する
- 異物混入のリスクが高くなる
- クリーン度が低下する

## 「空間除電式 ドライブース」が解決します

独自技術の天井全面ダウンフロー方式と、  
エア速度の微風速化に成功したことで、新たな付加価値を。  
静電気を除去し、理想的なドライ空間を提供します

### アセチレンブラック (AB)



システム無し



システム有り

### 帯電モニター値

0秒	+5000V	-5000V
約50秒後	+106V	-112V

### 【実験条件】

露点温度：-40℃~-60℃

乾球温度：19.9℃、床上90cm

## 追い求めたのは使用者の使い勝手

### 空間除電式 ドライブース仕様(標準タイプ)

ドライブースに除電システムを組み込み、独自の  
空調バランスコントロールを用いる事で、最適な空調条件を出します。

※ご希望に合わせた仕様で設計・制作致します。

Nihon Spindle

